

2025年も残すところ数日となりました。この日本で大きな変化といえば、国のリーダーが高市総理になったこと。テレビでは非難、ネットでは賞賛と不思議な状態ですが、その高市さんが首相になった当初、「鉄の女」と呼ばれた、イギリスの元首相、サッチャー氏と比較されました。そのサッチャーさんは、次のような名言を残されました。

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、
行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」。

よく似た言葉で

「心は行動となり、行動は習癖を産む。
習癖は品性を作り、品性は運命を決する。」

というものもあります。どちらも自分の内面から始まり、最後は運命、言い換えればよりよい人生につながることを述べています。

ところで、今の君たちは発展途上人。まだまだ自分勝手です。以前より

「ミスはしてもいい、大切なのはミスしたときは反省し、次の行動に移せばいいんだ。」と言ってきました。長い二学期だったから学習や部活動、そして、人間関係で失敗したこと、おこられたこともあったはずです。

そういう君たちとついつい重ねてしまうアニメの登場人物がいます。それは「鬼滅の刃」に出てくる【あがつま善逸】。アニメ第一期の頃は「なんだコイツは」って思っていました。修練から逃げるは、ぐだぐだ言い訳するは。ですが、そんな彼に

「善逸、極めろ。泣いていい 逃げてもいい ただ諦めるな」「誰よりも強靱な刃になれ!!」

とって見限ぎらなかったのが師匠 桑島慈悟郎（くわじま じごろう）

そのじいちゃんを失い、覚悟を決めた善逸。無限城に落ちていく中、閉じた目をカッと見開き「俺は自分のやるべきことをやる」といった、その姿にしばれました。

思いを持って過ごしていると、やがて、それは行動に表れてくる、そして、常にそんな行動に心がけていると、身に着いた習慣になっていくということです。そして、生活の中で身についたものは、その人自身の人間性・品性を作っていくことに結びついて行く、

その変化を「成長」と呼ぶのです。

3年主任の学年通信にみなさんの行動の変化を褒めた文書がありましたね。それは皆さんの日常の身だしなみや、廊下で出会ったときに自然体で出来る爽やかな挨拶など、様々な要素が混じり合ったからだと思います。坂井中学校のこの雰囲気を作っているのは、紛れもなく皆さん一人ひとりです。そのことに、皆さんは自信を持ち、これからも良き伝統にしていって欲しいと思っています。

最後に、3年生の皆さんは、卒業式まで約3ヶ月間、力を振り絞り、有終の美を飾って欲しいと思います。来るべき2026年、皆さんにとって最高の年になることを願い、私からの話とします。また、1月に会いましょう。